

きずな協働体通信

このコーナーでは、市内8地区で設立された「きずな協働体」の活動やイベント情報を紹介します！

紙屋地区に桜を植えました！



桜の開花が楽しみです

紙屋地区のまちづくりを担っている「紙屋一徳まちづくり協議会」の有志などで設立した「紙屋地区有志会」の活動についてご紹介します。昨年12月6日、遊学の森ボランティア隊や株光洋の皆さんと一緒に、国道沿いにカワヅクラとオオシマザクラをそれぞれ30本植樹しました。また、沿道美化を兼ねて歩道沿いに木綿の防草シートを張り、通学路の安全向上を図るとともに、植樹木には麻シートを張って草や竹の繁茂を抑制しました。今回の植樹によって、萩の茶屋近辺では1月のカワヅクラから5月のヤエザクラまで長い間サクラの花を鑑賞できるようになります。

輝け
フロンティアのじり

南校区 まちづくり協議会



街並みも上空から見渡すことができ
子ども達は自分の家を見つけることができたかもしれません

3分間の空の旅 熱気球搭乗体験

11月7日早朝、南小学校校庭に宮崎大学のオレンジ色の大きな気球が上がりました。「おはよう霧島熱気球搭乗体験」と銘打って南校区まちづくり協議会が主催したもので、コロナ禍により、様々なイベントが中止や規模縮小となる中、子ども達に「特別な思いを」と企画しました。上空20メートルの高さまで上昇すると、校庭にいた児童や小学校の校舎が小さく見えます。東には小林駅が見え、南には霧島連山が雲に隠れつつも大きく見えました。

3月～4月は自治会加入促進月間です

区・組は、同じ地域の住民が自主的に運営する最も身近な組織で、お互いの助け合いの心から生まれた組織です。日頃の活動や交流を通じて連帯感を深め、共通の課題をみんなで協力して解決する役割も担っています。

【どんな活動をしているの?】

- ◆安全・安心な地域づくり
防犯灯の設置維持、自主防災活動、子どもの見守り活動など
- ◆地域環境の整備や美化活動
ごみ集積所の管理、リサイクル活動、道路の清掃・美化など
- ◆地域のふれあい創出
運動会、敬老会、社会福祉活動など
- ◆情報伝達と関係機関との連携
広報紙などの回覧や行政等との連絡調整など

【加入する方法は?】

加入方法や区費・組費など分からないことは最寄の区長・組長にご相談ください。
※お住いの地域の区長は、企画政策課で確認できます。

企画政策課 Tel 23-0456

教育委員会

いま、
教育現場で求められている授業とは

令和2年度 小林市授業論文表彰式 受賞した論文を紹介!

市内小中学校の教職員より52編の論文が集まる

授業論文は、小林市の教職員の資質向上を図り、学校教育の充実と発展を目指します

小林市は、授業風景を記録した映像をもとに審査する授業論文の形式をとっています。

今年度の特徴として、

- ◆タブレット型パソコンを活用した授業
- ◆児童生徒同士の対話を中心とした授業が多く見られました。

宮崎大学、宮崎県教育庁義務教育課、南部教育事務所、宮崎県教育研修センターの協力のもと、厳正なる審査が行われました。



上段左より 倉掛校長(三松中)、近藤教諭(南小)、鶴田校長(細野中)
下段左より 高口教諭(三松小)、中屋敷教育長、原屋敷指導教諭(細野中)

【授業論文】

一席	細野中学校	指導教諭	原屋敷 貴子
二席	三松小学校	教諭	高口 章子
三席	南小学校	教諭	近藤 佳子
奨励賞	細野小学校	教諭	河上 智一郎
	細野小学校	教諭	田口 正子
	小林中学校	教諭	中田 貴紘
	三松中学校	教諭	岡上 桂
	須木中学校	教諭	吉村 政文

【学校の部】

学校賞	細野中学校	(校長 鶴田 康浩)
躍進賞	三松中学校	(校長 倉掛 高志)

一席論文

教科：外国語科

研究主題

「グローバルな視野をもった生徒の育成」
～生きて働く英語力の育成を通して～

【授業のポイント】

- ・音読練習が生徒自身の考えを表現できることにつながるよう、生徒同士が伝え合う場を設定した。
- ・国際社会における貧困問題などに視点を向けさせ、さらに生徒自身が考えたことを表現することにより、グローバルな視野をもたせた。

授業論文表彰式は各学校、小林市議会議場、宮崎大学をオンラインでつないで行われました。

一席、二席については、授業者が解説した音声と授業風景を10分間の動画にまとめ、当日はその動画を各会場で視聴しました。また、西小林中学校区の小中一貫教育実践発表や、小林市教育研究センターの調査研究に関する発表も行われました。



文化の足跡
国指定天然記念物
「エヒメアヤメ」
まもなく開花

エヒメアヤメは、もともとシベリアをはじめとする大陸系の植物で、寒冷な気候を好む希少植物です。日本では西日本の数箇所です。日本では西日本、小林市で自生するエヒメアヤメは、その中でも一番の南限地にあたります。花丈は約10センチ、花の色には薄いものから濃い青紫までの変異があり美しく、その小さく可憐な姿から「一寸アヤメ」「誰故草」などとも呼ばれています。3月下旬から4月上旬が見頃です。また、毎年見頃になると「エヒメアヤメまつり」が開催されます。県内では小林市にしか自生していない植物です。小さく可憐で貴重なエヒメアヤメを見て、春を感じてみませんか。

学校教育課 Tel 23-0424 ■ 社会教育課 Tel 22-7912